

環境経営レポート

株式会社 医学生物学研究所

2025 年度

(対象期間: 2025 年4月1日 ~ 2026 年3月31日)



MBL MEDICAL & BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD. (伊那研究所 第二生産棟)



発行日: 2026年6月1日

目 次

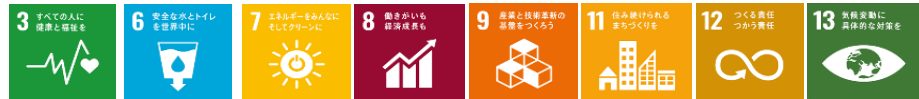
項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
実施体制図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	6
環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11

環境経営方針

経営理念

株式会社医学生物学研究所は、深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えております。臨床検査薬・関連製品及び基礎研究用試薬の製造、並びに受託製造等の事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発を目指し、行動指針に従い全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取り組みを進めてまいります。医薬品の適正使用や患者様のQOL改善に貢献する検査薬の開発を推進し、医療財政の低減化や人的な経済活動の活性化に貢献していきます。

基本方針



1. 次の事に取り組めます。

- ① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 水使用量の削減
- ③ 廃棄物排出量の削減(3R: 廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)
- ④ 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
- ⑤ 化学物質使用量の削減

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、毎年度及び大きな変更時に見直し、環境経営の継続的改善に努めます。

2. 適用される環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2017年4月21日

改定日：2023年6月16日

取締役社長 伊藤 浩毅

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 医学生物学研究所
取締役社長 伊藤 浩毅
- (2) 所在地
- | | |
|-------------|--|
| 本 社 | 東京都港区芝大門2丁目11番8号 住友不動産芝大門二丁目ビル |
| 伊那研究所 | 長野県伊那市手良沢岡1063番地103 |
| 伊那研究所 第二生産棟 | 長野県伊那市手良沢岡1018番地1 |
| 筑波研究所 | 茨城県つくば市御幸が丘25 JSR筑波研究所 |
| 配送センター | 千葉県印西市鹿黒南二丁目2グッドマンビジネスパーク Stage3 North3階 |
| 福岡営業所 | 福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17 福岡天神フコク生命ビル15階 |
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- | | |
|-----|-------------------------------|
| 責任者 | 伊那研究所管理部部長 岡田 邦宏 |
| 担当者 | 伊那研究所管理部 TEL:0265-76-1777(代表) |
- (4) 事業内容
- | | |
|--------|--------------------------|
| 伊那研究所: | 臨床検査薬、関連製品、並びに基礎研究用試薬の製造 |
| 筑波研究所: | 臨床検査薬の研究開発 |

URL: <https://www.mbl.co.jp/>



←MBL
ホームページはこちら

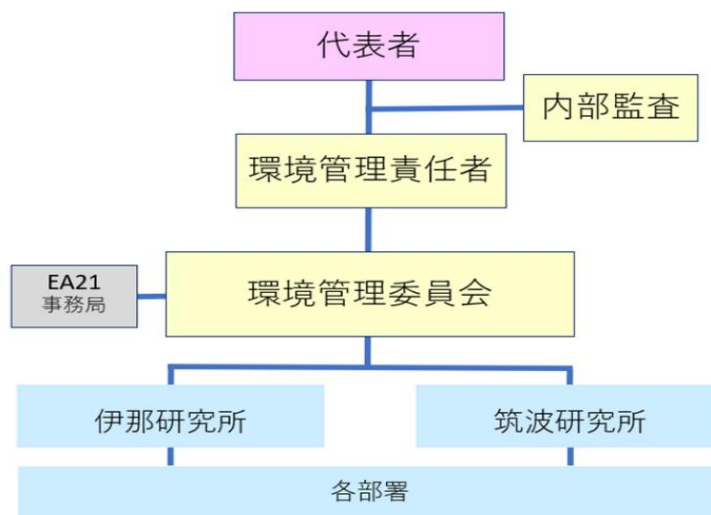
- (5) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□ 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 株式会社 医学生物学研究所 (サイト認証)
- 対象事業所: 伊那研究所
伊那研究所 第二生産棟
筑波研究所
- 対象外: 本 社 ・ 配送センター ・ 福岡営業所
- 活 動: 臨床検査薬及び関連製品並びに基礎研究用試薬の製造、
特注品(検査薬等)の受託製造

実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年9月8日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの運用に必要な人、設備、資金、情報等の準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標及び環境経営計画承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築運営、維持管理 環境関連法規などの取りまとめ 環境経営計画の進捗状況の確認とその評価 全体の見直しに必要な情報の代表者への報告 環境経営レポートの確認
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針及び各自の役割、責任及び権限の自部門従業員への周知・徹底 環境経営目標並びに環境経営計画に従った取組の実施と、必要な記録の作成、及び報告 自部門に関連する問題点の発見、是正、予防処置の実施
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者及び部門責任者の補佐、環境管理委員会の事務局 環境関連法規等取りまとめ表／遵守評価記録の作成 環境経営目標、環境経営計画原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポート作成と公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標及び環境経営計画の審議 環境活動の実績の確認と評価
環境内部監査事務局	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査の計画 内部監査の実施と報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 環境活動への自主的・積極的な参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,253,951	1,195,949	1,235,045
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	10,496	11,608	8,685
産業廃棄物排出量	kg	43,160	32,471	31,770
水使用量	m ³	8,674	4,334	4,647
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.470	0.470	0.470
		中部電力ミライズ 東京電力	中部電力ミライズ 東京電力	中部電力ミライズ 東京電力

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

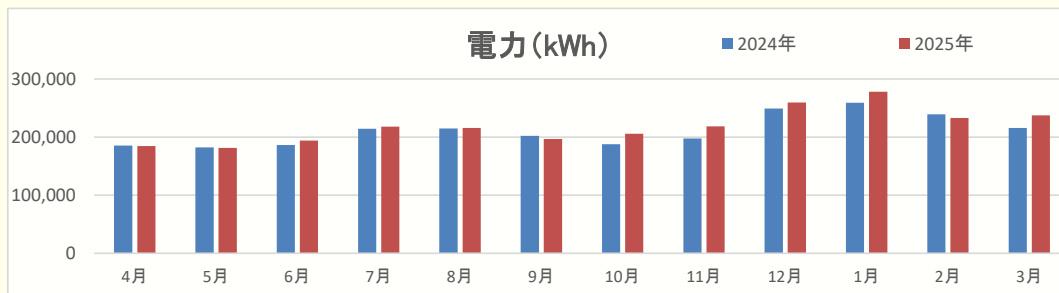
項目	年度	2024年			2025年			評価	2026年 (目標)	2027年 (目標)
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)				
電力による二酸化炭素削減	kWh	2,533,882	2,559,221	2,622,640	×	2,584,560	2,609,898			
	基準年度比		101%	104%		102%	103%			
売上高原単位	kWh/千円	0.342	0.346	0.292	○	0.349	0.352			
	kg-CO ₂	1,190,925	1,202,834	1,232,641	×	1,214,743	1,226,652			
	基準年度比		101%	104%		102%	103%			
自動車燃料による二酸化炭素削減(伊那のみ)	kg-CO ₂	5,024	5,074	2,404	○	5,125	5,175			
	基準年度比		101%	48%		102%	103%			
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,195,949	1,207,908	1,235,045		1,219,868	1,231,827			
一般廃棄物の削減(伊那のみ)	kg	11,608	11,724	8,685	○	11,840	11,956			
	基準年度比		101%	75%		102%	103%			
産業廃棄物の削減	kg	32,471	32,796	31,770	○	33,121	33,445			
	基準年度比		101%	98%		102%	103%			
水道水の削減	m ³	1,671	1,687	1,683	○	1,704	1,721			
	基準年度比		101%	101%		102%	103%			
地下水の削減	m ³	2,663	2,690	2,964	×	2,717	2,743			
	基準年度比		101%	111%		102%	103%			
有機溶剤の使用量削減(伊那のみ)	kg	3,050	3,081	1,118	○	3,111	3,142			
	基準年度比		101%	37%		102%	103%			
リサイクル量(一般廃棄物)	kg	データなし	データなし	5,965	-	-	-			
	一般廃棄物全排出量比	データなし	データなし	69%	-	-	-			
リサイクル量(産業廃棄物)	全リサイクル実績(kg)	データなし	データなし	9,759	-	-	-			
	マテリアルリサイクル(kg)	データなし	データなし	2,876	-	-	-			
	サーマルリサイクル(kg)	データなし	データなし	6,883	-	-	-			
	産業廃棄物全排出量比	データなし	データなし	31%	-	-	-			
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)									
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)									

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

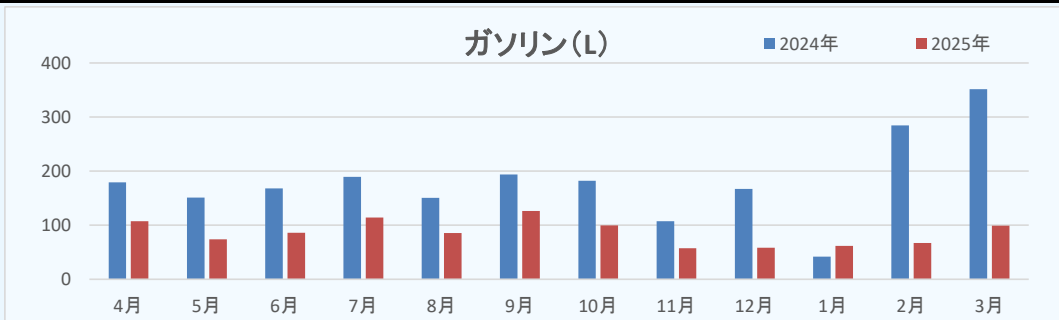
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	伊那と筑波の特徴を把握しながら管理をしていく。伊那については大きな能増などなく空調設備の更新など進めたため目標値に対し満足はいく結果となった。筑波では組織改編や研究開発テーマの拡充などあり業務が活発化した。数値の減少のみにフォーカスせずMBLの業におけるエコアクションを考えていきたい。
原単位目標	○	
・空調温度の設定管理(各職場の作業環境により設定。GMP等の特定エリアは除く)	○	
・不在時と休憩時の消灯実施	○	
・照明のLED化の推進	○	
・空調等管理の適正化(第二生産棟)	○	
・間引き照明の実施	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	185,233	182,404	186,299	214,525	214,670	202,315	187,588	197,656	249,189	259,267	239,151	215,585
2025年	184,712	181,510	193,910	217,759	215,886	196,925	205,768	218,421	259,519	277,796	232,974	237,460

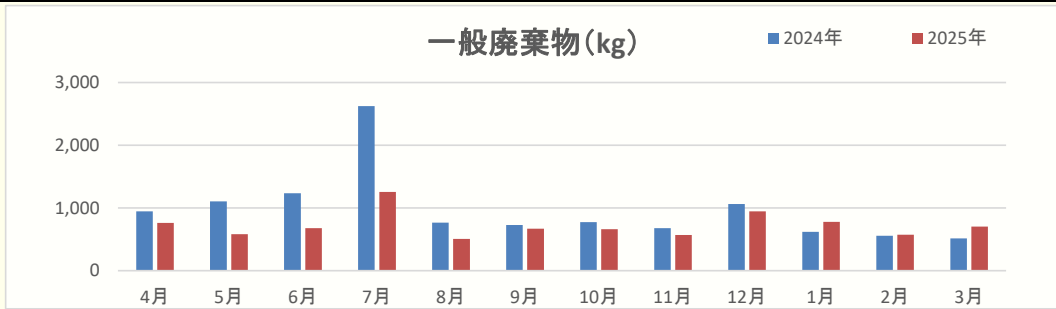
自動車燃料による二酸化炭素削減(伊那のみ)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ガソリン集計は伊那のみ。会議や面談のWeb.化がすすみ、社有車の使用頻度が減っている。リース契約のタイミングで社有車削減も考えていきたい。
・社有車のハイブリッド化/低燃費車化の推進	○	
・エコモード運転の励行	○	
・公共機関を利用した出張の励行	○	
・出張の必要性和吟味とWeb会議の活用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	179	151	168	190	151	194	182	107	167	42	284	351
2025年	107	74	86	114	85	126	100	57	58	62	67	99

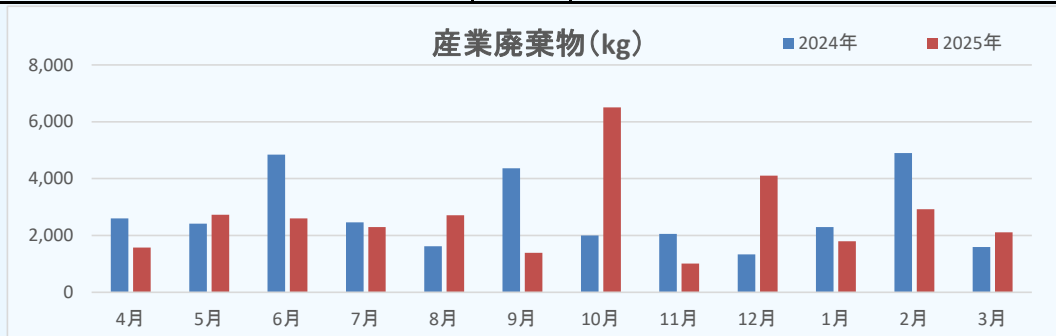
※リサイクルごみについてはリサイクルの推進の項に記入する

一般廃棄物の削減(伊那のみ)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	一般廃棄物は伊那のみ。ペーパーレス化でのごみ削減による。
・ペーパーレス会議の推進	○	
・分別の徹底による古紙等のリサイクル化の推進	○	
・書類の電子化の推進	○	
・整理、整頓、清掃、清潔活動の推進	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	947	1,104	1,233	2,625	764	729	773	679	1,064	621	555	515
2025年	761	580	678	1,254	508	670	662	569	946	779	575	705

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	伊那では削減、筑波では業務拡充により増加してはいるがすべてリサイクル。伊那においては分別やりサイクルをより進めていきたい。
・工程廃棄物の削減(不良品発生抑制)	○	
・在庫品廃棄物の削減	○	
・実験廃棄物の削減	○	

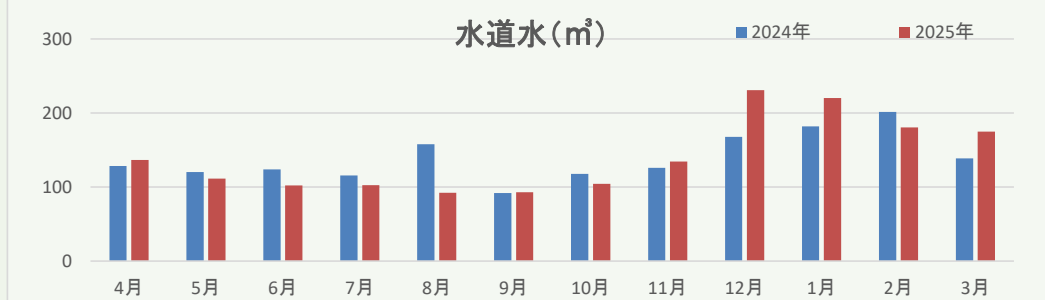


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	2,601	2,412	4,844	2,460	1,618	4,361	1,999	2,053	1,334	2,294	4,902	1,595
2025年	1,578	2,728	2,604	2,298	2,707	1,394	6,506	1,012	4,109	1,798	2,924	2,114

リサイクルの推進(一般廃棄物リサイクル・サーマルリサイクル・マテリアルリサイクル)
 2025年度より廃棄物についてはリサイクル量の総計を取るようになった。
 一般廃棄物のリサイクルは紙類。
 サーマルリサイクル(産業廃棄物)は熱回収。
 マテリアルリサイクル(産業廃棄物)は廃ガラスや有機溶剤のリサイクル。

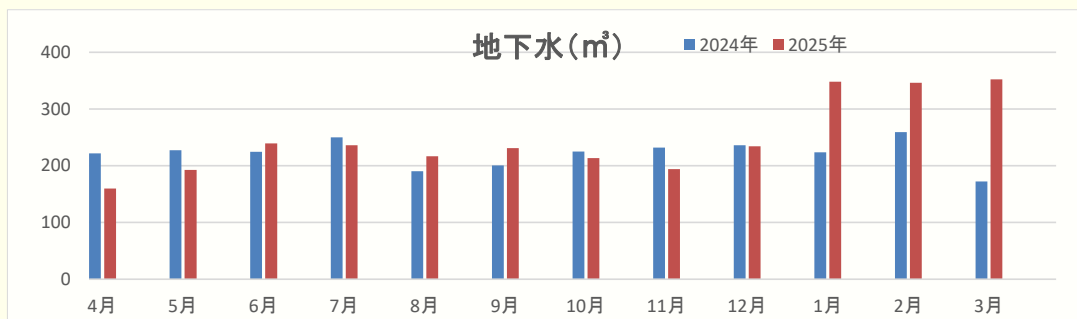
	一般廃棄物			産業廃棄物								
	リサイクル(kg)			全リサイクル(kg)			サーマルリサイクル(kg)			マテリアルリサイクル(kg)		
	全体	伊那研	筑波研	全体	伊那研	筑波研	全体	伊那研	筑波研	全体	伊那研	筑波研
2024年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2025年	5,965	5,965	-	9,759	1,781	7,978	6,883	0	6,883	2,876	1,781	1,095
対前年度比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	伊那における冬場の水使用量増加について、原因が突き止められてはいないが、伊那研全体で意識して管理していきたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・計画的安定生産による適正使用量の維持	○	
・計画的実験による適正使用量の維持	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	129	120	124	116	158	92	118	126	168	182	202	139
2025年	137	112	102	102	92	93	104	134	231	220	180	175

地下水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	井戸水は伊那のみ。冬場は凍結防止のため流水している。昨年まで流水していなかった施設(動物舎)があったのでその分増えているのではないかと想定する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・計画的安定生産による適正使用量の維持	○	
・計画的実験による適正使用量の維持	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	222	228	224	250	190	201	225	232	236	223	259	172
2025年	160	192	240	236	217	231	213	194	234	348	346	352

有機溶剤の使用量削減(伊那のみ)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	リスクが高い有機溶剤を使用しない方法の開発や代替品の検討する意識は常に持って活動する。
・計画的安定生産による適正使用量の維持	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	263	387	377	245	140	205	241	210	197	250	234	302
2025年	122	93	72	79	79	134	95	0	149	89	107	97

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用法令	遵法評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	○
毒物及び劇物取締法(毒劇法)	○
麻薬及び向精神薬取締法	○
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	○
有機溶剤中毒予防規則(有機則)(労働安全衛生法の有機溶剤対応)	○
特定化学物質障害予防規則(特化則)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法) 第一種特定製品の管理者の判断の基準(告示)	○
消防法 危険物の規制に関する政令(危政令)	○
下水道法 伊那市下水道条例	○
水質汚濁防止法(水濁法) 長野県 良好な生活環境の保全に関する条例(県 生活環境保全条例) (旧 長野県公害防止条例)	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律(公害防止組織整備法)	○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	○
手良地区農業集落排水処理施設への接続に係る協定書(伊那市協定)	○


環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2025年4月～2026年3月の期間で環境に関する苦情や要請はなかった。

緊急事態対応の試行・訓練



緊急事態の想定:	
■実施日: 2025年11月11日	■実施場所: 伊那研究所新棟・研究棟・第一生産棟、第二生産棟、管理棟
■参加者: 全員参加で避難訓練を実施	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
避難訓練 ・参加者: 新棟・研究棟・第一生産棟(71)+第二生産棟(48)+管理棟(26) 合計145名 ・全員参加で避難訓練を実施 ・出火元を非公開で行い火元確認者と避難誘導班の流れを確認 ・ベル鳴動⇒火元確認⇒自衛消防隊長へ連絡⇒館内放送⇒避難・避難誘導⇒集合・確認・本部への報告の一連の行動の確認 初期消火訓練 ・参加者: 新棟・研究棟・第一生産棟(20)・第二生産棟(27) 合計47名 ・訓練用水消火器を利用した初期消火訓練	
■実施状況の様子	
	
新棟前で行われた避難訓練の様子	初期消火訓練の様子

代表者による全体の評価と見直し・指示

○電気使用によるCO2排出量	・筑波研でのCO2排出量が増加。研究開発テーマや開発頻度の拡充により電気使用量が増加、数値による節約は意識しながらも、業全体としてのエコ活動/貢献度を主眼とする。	
○社有車使用によるCO2排出量	・大幅に減少(前年比半減)。伊那研での社有車を減らす方向で検討していく。	
○廃棄物	・2026年度からはリサイクル量を数値化し、廃棄委託業者の選定を進めていく。	

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介

地域貢献活動

●さくらを愛でる会

伊那市よりご寄贈いただいたタカトオコヒガンザクラを主役に「さくらを愛でる会」を開催いたしました。周辺地域の皆様にもご来場いただき、芋煮やお餅のふるまい、ビンゴ大会などを通じて地域の方々と社員が交流し、一体感ある催しとなりました。



●手良小学校廃品回収協力

伊那研究所では、「手良小学校PTA資源回収」に参加しました。社員のみなさんのご協力をいただき多くの資源ごみ(アルミ缶・新聞紙)を回収(排出)することができました。



●天竜川水系環境ピクニック

公益財団法人 長野県産業振興機構主催の天竜川水系環境ピクニック参加し、天竜川のゴミ拾いを行いました。予想以上のごみの量、特にプラスチック製品の多さから、改



●野鳥保護活動～ブッポウソウ観察会

「ブッポウソウ里の会」が開催するブッポウソウ観察会に参加いたしました。MBLの参加者たちは親鳥が巣箱へ餌を運ぶ姿を観察することができました。



●伊那まつり～翌日清掃活動

8/21に開催された伊那まつりの市民踊りに参加しました。その翌朝、伊那市役所主催の清掃活動に参加し、伊那まつりで打ち上げられた花火のゴミを回収しました。





●伊那市で出前授業の実施

伊那市立手良小学校で、5年生14名を対象とした出前授業を行いました。会社の説明、顕微鏡での細胞観察を実習でおこない、楽しく学んでいただきました。



構内整備

●防草シートを貼り作業の効率化と除草剤の削減

既存棟の外周等に防草シートを貼り、草刈り等の作業の効率化を行いました。除草剤散布量も削減いた



●第二生産棟エントランスの緑化活動

第二生産棟のエントランスを整備しました。

